



討論の論点について

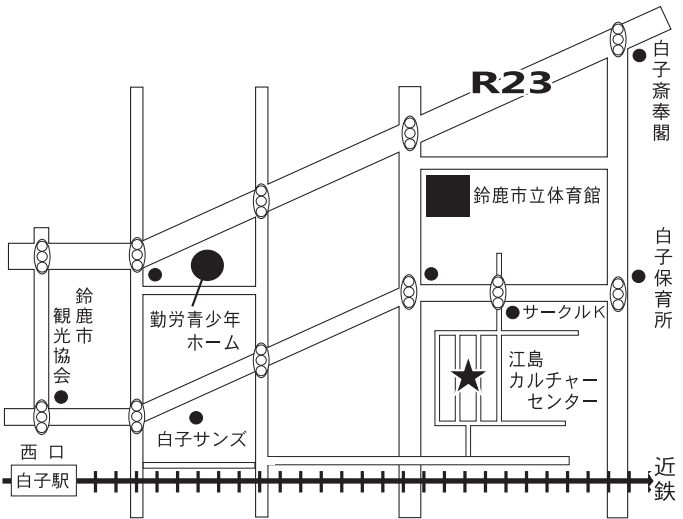
3月討論から 要約1

あまい見通し…に反対

市立体育館、市立図書館、市民会館、白江土地区画整理事業地内の保留地など、どのように更新、維持するか見えてない。施設カルテをつくり、市民の方々と考え直すことが必要。

公共施設について、産業建設委員会関連で問題を捉えていないと思える事が。5款労働費における勤労青少年ホーム費での維持修繕費320万円の計上。

この施設をあと何年使うのか、それともほかの施設と機能統合するのかない中で、単に改修のため投じることが、市財政への取り組みの中で非常に問題。目的がはっきりしない、効果がはっきりしない事業に、320万が使われることは問題である。



施設と事業を見直すべき

なぜ勤労青少年ホームの維持修繕費320万円が問題なのかという、白子地区にある施設は老朽化が進み、数年で廃止するのであれば、維持修繕費の支出は妥当ではありません。

現在、行われている事業は子育て支援の「はぐはぐ」などですが、同じ地域内の武道館や市立体育館、子ども図書館としての江島カルチャーセンターなどを活用すれば、いまの事業を継続できるはずだ。

財政が厳しい折、このような税金の使い方はやめなければいけませんし、また、今回の予算から見えるのは、行政内での縦割り体制が、一貫性のない施設管理に出ていることです。

マネジメントの重要性

公共施設白書やマネジメントについて、市議会総務委員会でも取り上げられています。私自身、担当課とやり取りし、先日、名古屋大学で行われた研修会なども紹介しながら、良い方向になるように働きかけています。施設の維持更新は市民全体の課題です。今後、市の動きに注目して頂きたいと思います。

3月討論から 要約2

説明責任について

政治の責任というのであれば、事後の説明責任はもちろん、事前にどれだけ説明責任を果たすかが問われる。事前に説明責任を行わないまま物事を進めたら、どのようなことになるかはわかること、曖昧なことではいけない。

運営費用ねん出に疑問

給食センター運営に2億から3億円が必要であれば、どのような行財政改革を行い、2億から3億を捻出するかを明示しなければいけない。

国の動きでも、政権交代の際にもあったが、埋蔵金があると言いながら、結局埋蔵金がなかった。これは記憶に新しいところ。その点について、やはりしっかり考えなければいけない。

八方美人はできません

現在の市財政の中で、年間2億3億円をねん出するのは簡単ではありません。経済がそれなりなのは、耳ざわりの良いことばかりでよかったのですが、これからの時代は、「なんとかなるよろ」的な考えでは行きづまります。どのような選択をしているのか、部分だけでなく、全体から見た説明を行政も議会も行わなければいけないと思いますし、議決に携わる個々の議員も行うべきだと思います。

6月討論から 抜粋

市長の政治姿勢

議案第35号市長等の退職手当の特例に関する条例の制定、15%の減額について賛成。

ただし、過去の一般質問などで、特別職の退職手当に算出基準について疑問を呈している。私としては、市長の現在1年あたり100分の450という割合*1を、一般職に準じる形で1年あたり100分の100*2にすべきと考える。理由は、一般職と特別職との職責などによる差は、月額報酬ですでに出ており、その考えを退職手当にまで拡大解釈すべきではない。

議案質疑を本会議場で行い、その際、市長も含めて、退職手当の額について妥当と判断したとあったので、1年あたりの掛け率についても同じと判断。末松市長の政治的な意味も含めた判断と受け取り、それを尊重する意味で賛成。

※条例制定後の市長退職手当について

$$\frac{105万8千円}{月額報酬} \times \frac{4.5}{*1} \times \frac{4}{年} \times \frac{0.85}{条例による} = 1618万7400円$$

*2 一般職について、条例上での退職手当の計算式は1年以上10年未満の勤務で、1年あたり月額給与の100分の100となっています。

～ みんなで考え、取りくむこれからの鈴鹿 ～

第1回
テーマ

事業仕分けとこれからの自治

～ 手にできる情報から、市民も取り組んでみよう！～

メディアを通じて注目された‘事業仕分け’、国だけでなくいろいろな自治体でその取り組みが広がっています。その事業仕分けの最前線で活躍されている構想日本のディレクター伊藤伸氏を鈴鹿にお迎えし、今鈴鹿市のホームページなどで公開されている情報を手に、事業仕分けの手法を学ぶ機会を企画しました。これからは公開される情報を手に、もっと市民も政策に取り組んでいく時代です。ぜひこの機会に、事業仕分けと一緒に体感してみませんか。また、伊藤さんには、現在の政治動向についてもお話し頂く予定です。

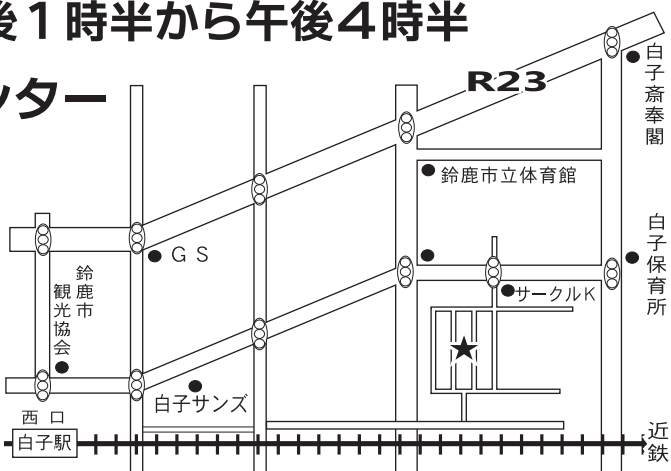
講師：伊藤 伸氏 構想日本 ディレクター（総括）

日時：9月1日（日）午後1時半から午後4時半

会場：江島カルチャーセンター
2Fホールにて
鈴鹿市中江島町3-27

定員：50名

会費：無料
(カンパを頂ければ幸いです)



講師：伊藤 伸氏 構想日本 ディレクター（総括）

経歴：1978年北海道生まれ。

同志社大学法学部卒。衆議院

議員秘書、参議院議員秘書を

経て、05年4月より構想日本政

策スタッフ。08年7月より政策

担当ディレクター。09年10月

、内閣府行政刷新会議事務局

参事官（任期付の常勤国家公

務員）。行政改革全般や行政

刷新事務局のとりまとめ等を

担当。13年2月、内閣府を退職

し構想日本に帰任。

構想日本：<http://www.kosonippon.org/>

主な社会活動等：

地方自治体事業仕分けにおけるコーディネーター、仕分け人（76回、43自治体）、政府事業仕分けにおけるコーディネーター（全6回すべて）、政党主催事業仕分けにおけるコーディネーター（自民党、民主党）

東京都杉並区「杉並民間事業化モニタリング審査委員会」委員（2008～2010）、埼玉県富士見市「民と官の連携による公共サービス改革検討委員会」委員（2009～2010）、静岡県「土民協働事業仕分け対象事業選定委員会」委員長（2011）



問い合わせはと申込みは下記にお願いします

中西 大輔 メール：daisuke.nakanishi@gmail.com

電話：090-7914-6009

Facebook…ぷろもーとすずか

<https://www.facebook.com/promotesuzuka>

一般質問を動画配信しています。ホームページをご覧ください…

<http://www.daisuke-nakanishi.net/>